

改善箇所説明図



注) は、交換する部品を示す。

不具合の内容

排気ガス再循環装置（EGR）において、バルブフラップ操作用アクチュエーターの製造管理が不適切なため、ローターが変形をすることにより、バルブフラップの切り替え不良になることがある。そのため、バルブフラップの切り替えができなくなることで、エンジン警告灯が点灯し、排気ガスが基準値を満たさなくなるおそれがある。

改善の内容

全車両、フラップ操作調整用アクチュエーターを良品と交換する。

識別：左フロントドアのロワヒンジのボルト（頭）に白ペイントを塗布する。